

8月13日(月)

私を強くして下さる方

聖書朗読 ピリピ 4:4~13

しかし、満ち足りる心を伴う敬虔こそ、大きな利益を受ける道です。

I テモテ 6:6

2018年8月13日~8月19日

翻訳 伊藤若菜

編集 相川忠義

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

この原稿を書いている時、外は雪の嵐が吹き荒れています。シカゴの基準だと、この程度なら大したことはありません。リトルロック（アーカンソー州の州都）基準だと、論外です。空港での離発着便は全てキャンセルになっています。航空会社の地上係員は「残念だけど今日飛べる便はなさそうだな」と、落ち着いた優しい口調で説明してくれました。リトルロックでは相手が誰であろうと、優しく語ってくれます。

この落ち着いた対応を受けて、私はピリピ4:11~13を思い出しました。特に11節でパウロが『乏しいからこう言うものではありません。私は、どんな境遇にあっても満ち足りることを学びました』と書いた箇所です。この聖書箇所を書いた時パウロは牢獄におり、普通なら「落ち着いて」はいられない状況でした。しかし、そんなパウロは「満ち足りることを学びました」と書いています。私はこのパウロの姿勢に注目してみたいと思います。

私達が「満ち足りる」ためには、次の点を心に留めることが大切ではないでしょうか。それは、私達が信じる神様は、私達のために最善をなして下さるお方であり、私達のために何をも惜しむことなく与えて下さる方である、という点です。何らかの困難な状況の中に置かれた時でも、「神様は私達に、試練を克服するための力を与えて下さる」ということを、思い起こしましょう。パウロも書いているように、『私は、私を強くして下さる方によって、どんなことでもできるのです』（13節）。

物事が私達の意に反して悪い方向へ向かう時にも、心を神様に向けて、心を落ち着かせるように努めてみませんか。カッとなって他人を一方向的に非難したり、或いは（神ではなく）人を恐れて他人の意見にむやみに同調したりしてしまいそうな時は、まず神様に祈ってみましょう。また、讃美歌を歌ったり、聖書を読むことも、心を静めるために必要だと思います。さらに、私達の霊的模範となるような人から学んでみることも出来ますし、私達自身が誰かにとって霊的模範となれるよう、祈り求める必要もあります。私達は一人で祈るだけでなく、皆で祈り合い、学び合うことも出来ます。私達が困難な状況に置かれている時こそ、パウロが書いた『私を強くして下さる方』つまり神様と出会う機会なのです。

讃美歌 291

祈り 私達を強めて下さる神様が、私達をいつも助け導いて下さいますように。
イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

パトリック・オドム
イリノイ州シカゴ

8月14日(火)

平和をつくる者

聖書朗読 コロサイ 1:18~27

なぜなら、神は御心によって、満ち満ちた神の本質を御子のうちに宿らせ、その十字架の血によって平和をつくり、御子によって万物を、御子のために和解させて下さったからです。地にあるものも天にあるものも、ただ御子によって和解させて下さったのです。

コロサイ 1:19~20

『平和をつくる者は幸いです。その人たちは神の子どもと呼ばれるから』(マタイ5:9)。二千年以上前に語られたこの御言葉は、現在でも生き生きと私達に語りかけているのではないのでしょうか。新約聖書の時代以降の二千年の歴史には、たくさんの悲しい出来事や暗黒の時代がありました。そして、現在でも世の中には問題や課題が山積しています。こんにち私達は、「平和をつくる者」を特に必要としているのではないのでしょうか。

イエス様は、『平和をつくる者は・・・』と仰っています。つまり、平和は、敵に対し単に何もしないという受け身的な態度によってもたらされるのではないのです。そうではなく、平和は、『平和をつくる』という私達の何らかの積極的な姿勢を必要とするのです。

マーティン・クックという人は、キリスト教精神について次のように述べました。すなわち、キリスト者にとって大切なことは、暴力を単に否定するというのではなく、社会で抑圧されている人々や弱い立場にいる人々に対し積極的に手を差し伸べていくことだ、と述べました。抑圧や不正がある限り、この世界に真の平和はもたらされません。私達は、『平和をつくる者』として召されていますから、抑圧や不正によって虐げられている人々に対し、私達も積極的に手を差し伸べる必要があるのではないのでしょうか。

私達は神の子供として、『平和をつくる者』として召されています。サタンは抑圧や不正をこの世にもたらします。『平和をつくる者』として私達が用いられる時、私達は神の御国の建設に貢献することになることでしょう。

讃美歌 531

祈り 全能なる神様、恐れを感じ不安な時こそ、『平和をつくる者』として私達が召されていることを思い起こさせて下さい。イエス様が語られた御言葉に信頼を置いて、歩むことが出来ますよう、私達をお導き下さい。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

ペート・ナッシュ
オハイオ州ウォレン

8月15日(水)

歳の重ね方

聖書朗読 コロサイ 3:12~17

わが神。私は御心を行うことを喜びとします。あなたのおしえは私の心のうちにあります。

詩篇 40:8

私は最近誕生日を迎えました。今年の誕生日は、私にとって少し特別な誕生日でした。と言うのも、私はちょうどぴったり80歳の誕生日を迎えたからです。最初は80歳の誕生日を迎えることについて、あまり深く考えていませんでした。しかし、80歳になってもまだ誕生日を祝うことが出来るということは、神様が私に対しそのように計画なさっているからだと考えるようになりました。神様は私に対し「地上でまだやるべきことがある」と言われているように感じました。

理想的な歳の重ね方とは、どのようなことを意味するのでしょうか？ 以前の私の考えでは、いつまでもしっかりとした思考力を維持することや、実際の年齢より若く見えることが、理想的な歳の重ね方だと思っていました。しかし、神様が私達に求めておられるのは、外見や記憶力の良さよりも、思いやりの心、親切な心、謙虚さ、優しさ、忍耐する心だと気付きました。歳を重ねるごとに、私がより親切に、より謙虚になることを神様は望んでおられるのではないのでしょうか。

もし私が歳を重ねるごとに、より親切に、より謙虚になっていくならば、私は神様の器として用いられることでしょう。そしてそれは、『恐れおののいて自分の救いの達成』に努める(ペリピ2:13)ことになるのです。歳を重ねていくことは、素晴らしいことです。神様は私にまだ地上で生きる時間を与えて下さっているのですから、その与えられた時間を大切に、神様に喜ばれる仕方で生きていきたいと思います。

聖歌 591

祈り 天におられるお父様。こうして誕生日を迎えられたことがいかに感謝なことであるか、私がいつも心に留めておくことが出来ますように。周りの人々を祝福するあなた器として、私をどうぞお用い下さい。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

ケイ・バーナム・エヴァンズ
テキサス州ラボック

8月16日（木）

聖書を通して与えられるアドバイス

聖書朗読 I テサロニケ 3：1～5

また、幼いころから聖書に親しんで来たことを知っているからです。聖書はあなたに知恵を与えてキリスト・イエスに対する信仰による救いを受けさせることができるのです。 II テモテ 3：15

子供の頃、両親に叱られて「だから言ったでしょ！」と言われたことはありませんか。私の母は、私の間違った行動がどのような結果を引き起こすかいつも分かっていました。ですから母は、注意に従わなかった場合に予想される結果を具体的に言いながら、つまり「そんなことをしたら〇〇になってしまうので、やめなさい」と言いながら、私を注意したものです。私が母の注意を無視した時はいつも、母が言った通りの結果が起こり、母は「だから言ったでしょ！」と言って私を叱ったものです。私が母の言うことに信頼せず従わなかったことは、母に悲しい思いをさせたことでしょう。

私は大人になるにつれ、聖書にも類似したことが書かれていることに気付きました。本日の聖書朗読箇所4節でパウロは、『前もって言うておいた』と記しています。パウロは、予想される試練に対し備えておくよう弟子たちに言うておいた、ということです。パウロは弟子たちに対し、クリスチャンが迫害を受けることになることを、あらかじめ伝えていたのです。またマタイ 24:25 でイエス様は、『わたしは、あなたがたに前もって話しました』と言われています。イエス様は弟子達に、これから偽教師たちが現れて多くの者が惑わされることになることをあらかじめ伝えたのです。このように、御言葉を通して神様は、私達に注意を促しています。ですから、私達は御言葉を信じ、御言葉にこそ従っていく必要があるのです。神様は、神様の御心とご計画を私達に知って欲しいと願っておられ、そのために私達には御言葉（聖書）が与えられています。

讃美歌 501

祈り 天におられるお父様、御言葉をありがとうございます。御言葉を通して私達は導かれ、救いの恵みも知ることが出来ます。聖書に書かれている通り、あなたに愛されていることを知ることが出来ます。
イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

チャールズ・K・キング
オクラホマ州アルタス

8月17日（金）

祈りによって解決する

聖書朗読 I テモテ 2：1～5

ですから、あなたがたは、互いに罪を言い表し、互いのために祈りなさい。いやされるためです。義人の祈りは働くと、大きな力があります。 ヤコブ 5：16

新しい大統領が就任する際に起こったデモや暴動に対して、あなたはどのように感じましたか。使徒パウロは、本日の聖書朗読箇所4節で次のように書いています。『そこで、まず初めに、このことを勧めます。すべての人のために、また王とすべての高い地位にある人たちのために願い、祈り、とりなし、感謝がささげられるようにしなさい。それは、私達が敬虔に、また、威厳をもって、平安で静かな一生を過ごすためです』。

パウロが生きていた時代、ローマ帝国の皇帝ネロが政治を担っていました。歴代のローマ皇帝の中でも、ネロは最悪の皇帝だと言われています。ネロはありとあらゆる手段でクリスチャンを迫害しました。このような状況下でパウロは、祈ることを大切にしよう勧めています。

逆境に置かれた時、私達はまず何をすべきでしょうか？ 祈りましょう。威張っている上司や強引な指導者たちが現れた時、私達はまずどうするべきでしょうか？ 祈りましょう。心が沈むような時、がっかりした時、私達はまず何をすべきでしょうか？ 祈りましょう。『あなたがたのうちに苦しんでいる人がいますか。その人は祈りなさい。喜んでいる人がいますか。その人は賛美しなさい。あなたがたのうちに病気の人がありますか。その人は教会の長老たちを招き、主の御名によって、オリーブ油を塗って祈ってもらいなさい』(ヤコブ 5:13-14)。

国の指導者たちのために私達が出来最善のことは、祈ることです。神様に祈るということは、神様に介入して頂くことを求めていることになります。また、祈るということは、イエス様こそ王の王でありすべてを支配なさっている方であることを改めて心に刻むことでもあります(参照、黙示録 2:12-18)。不確かな未来に対して、私達が出来最善は、祈ることです。祈る時、私達は平安も頂きます。地上的な支配者が誰であろうと、私達は神様にこそ信頼を置くべきです。

讃美歌 310

祈り 天のお父様、不安になる時、祈ることを教えて下さい。あなたの御心が行われますように。
イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

ケン・ショット
テネシー州ナッシュビル

8月18日（土）

肉 体 の 鍛 錬 よ り も 大 切 な こ と

聖書朗読 I テモテ 4：1～10

肉体の鍛錬もいくらかは有益ですが、今のいのちと未来のいのちが約束されている敬虔は、すべてに有益です。 I テモテ 4：8

現代の研究では、定期的に体を動かし運動することの重要性が言われていますが、聖書は運動よりも大切なことがあると教えています。I テモテ 4:8 では『肉体の鍛錬もいくらかは有益』と運動の重要性を示唆しつつも、敬虔な歩みをすることは、より重要であると教えています。そして敬虔な歩みをするためには、御言葉によって養われる必要があります。

今日のインターネット等が普及した社会では、短い文章の方が好まれる傾向にあるようです。例えば、ツイッター上での発言は字数が制限されていますし、ソーシャルメディアに投稿される動画や新聞の見出しには、短いけれどもインパクトのある偉人の名言等が（その深い意味を無視して）用いられています。様々な人目を引くようなキャッチコピーが、コンピュータの画面に表示され、Tシャツにプリントされています。そうしたキャッチコピーは、誰かの名言の引用の場合もありますし、聖書からの引用の場合もあります。御言葉を引用することは、基本的には良いことだと思いますが、気に入った短い聖書の箇所だけを切り取って、聖書全体から学ぼうとはしないのは、残念です。

一日一日を前向き生きるために、毎日短い聖句を選んで「今日の聖句」とすることが間違っているとは思いません。しかし、御言葉に拠り頼むということは、日々選んだ短い聖句だけを読めば良いということではないと思います。聖書全体を学ぶ必要もあるのです。パウロは次のように勧めています。『あなたは熟練した者、すなわち、真理の御言葉をまっすぐに説き明かす、恥じることの無い働き人として、自分を神にささげるよう、努め励みなさい』（II テモテ 2:15）。私達にとって、敬虔な者へと変えられていくことはとても重要なことです。そしてそのためにも、御言葉を（気に入った短い聖句だけでなく）時間をかけて丁寧に学んで参りましょう。

讃美歌 187

祈 り 神様、詩篇の作者のように、常にあなたに心を向けることが出来るようお助け下さい。御言葉により頼むことができるよう、お導き下さい。
イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

シャロン・フォースター
テネシー州マクウェン

8月19日（日）

敬 虔 な 母

聖書朗読 II テモテ 1：3～7

けれどもあなたは、学んで確信したところにとどまっていなさい。あなたは自分が、どの人たちからそれを学んだか知っており、また、幼いころから聖書に親しんできたことを知っているからです。聖書はあなたに知恵を与えてキリスト・イエスに対する信仰による救いを受けさせることができるのです。II テモテ 3：14～15

幸いなことにテモテは、敬虔な母と祖母によって育てられました。祖母ロイスは家族で最初にクリスチャンになった人で、その後、母ユニケがクリスチャンになりました。テモテの父はギリシヤ人でした（使徒 16:1）。テモテは祖母と母から聖書について教わりました。まだ旧約聖書しかない時代でしたが、テモテに聖書を読み聞かせ、神様を信じるよう導き、また神様に従って歩むよう教えました。そしてテモテは、パウロの指導のもと優れた伝道者になりました。

私自身も敬虔な母に育てられましたので、私は大変恵まれていたと思います。母は、『主の教育と訓戒によって育てなさい』（エペソ 6:4）の御言葉どおり私を育ててくれました。また、単に聖書を教えるだけでなく、聖書の教えを自ら実践していました。例えば、ヘブル 10:25 にある『ある人々のように、いっしょに集まることをやめたりしないで、かえって励まし合い、かの日が近づいているのをみて、ますますそうしようではありませんか』という御言葉を、母は実践していました。毎週日曜の朝晩、そして水曜の晩は教会へ行っていました。母が行くので、私も一緒に教会へ行きました。教会に行くことは、私達家族にとって全く違和感のない自然なことでした。母は96歳で亡くなりました。クリスチャンとして良き模範であった母に、感謝しています。

讃美歌 510

祈 り 親愛なる神様、信仰の先人たちが、神を愛することと神の御言葉に従うことを教えてくれたことに感謝します。
イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

デール・フォスター
テキサス州サイプレス